

保育コース2年

「里山の自然」とオブジェ作り

令和6年度 揖斐高 topics No.30

令和6年10月30日（水）

保育コース2年生では、「森と木と水の環境教育支援事業」の一環として NPO 法人「山菜の里いび理事長」の小寺春樹氏にお越しいただき、間伐材や木の実を利用したオブジェ作りを行いました。

材料は自然のものなので、同じ形や色のものはなく、枡の実や椿の実、どんぐりなど一つ一つを手に取りながら吟味しました。材料を選び終わると、黙々と作業を進め、間伐材で家を作ったり、木の実や皮をケーキに見立てたりして個性あふれる作品が完成しました。

「最近のニュースで『熊が住宅街に出没した』という報道を聞いて怖いと思ったけれど、森の食料不足が原因で起こっていることだと分かり、森や自然を大事にしなければいけないと思った。」と環境問題への意識を高めることにつなげることができました。

